



2022年8月4日

各 位

会社名 株式会社 日本 触 媒
代表者名 代表取締役社長 野 田 和 宏
(コード番号 4114 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレート・
コミュニケーション部長 西川 朋孝
(TEL 03-3506-7605)

2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2023年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想値(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上収益	営業利益	税引前 四半期利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益	基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2022年5月12日時点)	220,000	6,000	7,000	5,000	125.39
今回発表予想(B)	230,000	15,000	17,500	12,000	300.94
増減額(B-A)	10,000	9,000	10,500	7,000	
増減率(%)	4.5	150.0	150.0	140.0	
(ご参考)前第2四半期実績値 (2022年3月期第2四半期)	172,988	15,177	17,750	12,350	309.72

2023年3月期 通期連結業績予想値(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2022年5月12日時点)	445,000	20,000	23,000	15,500	389.14
今回発表予想(B)	460,000	25,000	30,000	20,000	502.03
増減額(B-A)	15,000	5,000	7,000	4,500	
増減率(%)	3.4	25.0	30.4	29.0	
(ご参考)前期実績値 (2022年3月期)	369,293	29,062	33,675	23,720	594.86

2. 個別業績予想について

2023年3月期 第2四半期(累計)個別業績予想値(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2022年5月12日時点)	135,000	2,800	8,500	7,000	175.55
今回発表予想(B)	142,000	8,300	15,300	11,900	298.44
増減額(B-A)	7,000	5,500	6,800	4,900	
増減率(%)	5.2	196.4	80.0	70.0	
(ご参考)前第2四半期実績値 (2022年3月期第2四半期)	105,139	9,523	13,646	10,896	273.25

2023年3月期 通期個別業績予想値(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2022年5月12日時点)	273,000	10,000	17,000	13,000	326.37
今回発表予想(B)	283,000	12,700	21,100	16,400	411.67
増減額(B-A)	10,000	2,700	4,100	3,400	
増減率(%)	3.7	27.0	24.1	26.2	
(ご参考)前期実績値 (2022年3月期)	224,366	18,148	24,444	17,609	441.60

3. 連結・個別業績予想修正の理由

2023年3月期第2四半期累計期間(以下、上期)の連結業績予想につきましては、一部製品の価格改定や円安の進行等により販売価格が上昇したこと、販売数量も高吸水性樹脂などが計画を上回ることなどにより、売上収益は、2022年5月12日時点の業績予想値(以下、前回予想値)に対し、100億円増収の2,300億円となる見込みです。利益面につきましては、アクリル酸及びアクリル酸エステルのスプレッドの拡大や、高吸水性樹脂のスプレッドの拡大及び販売数量の増加などが上振れ要因となり、営業利益は前回予想値に対し90億円増益の150億円となる見込みです。また、税引前四半期利益は175億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は120億円となる見込みです。

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、上期の状況を踏まえ、足下の原燃料価格が前回予想値発表時の想定よりも高値で推移することを考慮し販売見通しを見直した結果、売上収益は、前回予想値に対し150億円増収の4,600億円となる見込みです。利益面につきましては、上期の上振れがあるものの、原燃料価格の高騰が想定以上に継続していることによるスプレッドの縮小や、アクリル酸及びアクリル酸エステルなどの製品海外市況が一定程度下落することを見込んでおります。これにより通期の営業利益は、前回予想値に対して50億円増益の250億円、税引前利益は300億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は200億円となる見込みです。

通期業績予想の為替レートは130円/米ドル、136円/ユーロ、国産ナフサ価格は81,800円/キロリットル(上期83,600円、下期80,000円)としております。

また、2023年3月期上期および通期の個別業績予想につきましても、同様の理由から上記のとおり修正いたします。

4. 配当予想について

2023年3月期の配当予想につきましては、中間配当金は前回予想の1株当たり90円から変更はありません。なお、期末配当予想については、ウクライナ情勢や原料価格の高騰、自動車減産の影響等、今後の業績動向を見極めたうえで、引き続き修正の要否を検討してまいります。

(注) 上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上